

《平成22年度～平成26年度》

宮崎市中期財政計画のポイント

(平成25年度ローリング)

「自立した、持続可能な財政」の実現を目指して

★目次★

はじめに 中期財政計画の概要	…1
ローリング(見直し)の目的と方法	…2
ローリングの結果①(試算の結果)	…3
ローリングの結果②(試算の比較)	…4
ローリングの結果③(試算の検証)	…5
ローリングの結果④(基金・市債残高及び公債費の推移見込み)	…6
参考:第四次宮崎市総合計画 後期基本計画 財政見通し	…7

平成25年10月
宮崎市企画財政部財政課



はじめに 中期財政計画の概要

★中期財政計画とは

- 宮崎市の財政運営の基本的な指針。理想とする財政のすがた「自立した、持続可能な財政」を実現するための取り組み(財政健全化対策・財政目標)をまとめたもの。普通会計を対象とする。

★計画期間

- 平成22年度から平成26年度まで

★主な財政健全化対策

- 歳入
市税の収納率向上、市債発行額の抑制(「元金ベースのプライマリーバランスの黒字化」厳守)
- 歳出
行政運営経費の削減(人件費・普通建設事業費・補助費等・物件費)

★財政目標

目標1	市債残高150億円以上の圧縮を目指す(対H21比 普通会計ベース)
目標2	財政5基金残高200億円以上の確保を目指す ※財政5基金:財政調整基金、公共施設整備等基金、財源対策債等償還基金、土地開発基金、地域振興基金
目標3	行政運営経費80億円以上の削減を目指す(対H22予算比 一般財源ベース) ※行政運営経費:人件費、普通建設事業費、補助費等、物件費

ローリング(見直し)の目的と方法

★25年度当初予算編成における成果

- 中期財政計画にもとづいて予算編成に取り組んだ結果、いずれの財政目標も達成し、「自立した、持続可能な財政」の実現に向けて一定の成果を上げることができた。

★ローリングの目的

- こうした成果を踏まえ、「収支不足の解消」と「財政目標の達成」を図り、「自立した、持続可能な財政」を実現するため、将来の財政運営に影響を与える要素を織り込んで、昨年度に試算した財政収支をローリング(見直し)し、適切かつ効果的に財政健全化に取り組む。
- ローリングの結果は、26年度当初予算編成に活用する。

★ローリングの方法

- 昨年度の財政収支試算をもとに、次の要素を反映させて歳入・歳出を試算する。

※反映させる主な要素

- 内的要素～24年度決算、25年度予算
- 外的要素～国の「中期財政計画」・「概算要求基準」・
「地方財政収支の仮試算(25年8月発表)」、各種制度の改正、
社会経済情勢の変化
・「社会保障と税の一体改革」に伴う影響

ローリングの結果①(試算の結果)

★平成24年度時点(ローリング前)

※普通会計ベース

(単位:億円)

区 分	H21決算	H22決算	H23決算	H24予算	H25計画	H26計画
歳入①	1,545	1,556	1,537	1,514	1,499	1,522
歳出②	1,518	1,528	1,508	1,514	1,515	1,526
収支①－②	27	28	29	0	▲ 16	▲ 4
市債残高	2,139	2,119	2,085	2,057	2,023	1,988
財政5基金残高	252	244	258	246	233	230
行政運営経費削減額 対22予算比:一般財源ベース	—	—	6	12	30	33

★平成25年度時点(ローリング後)

※普通会計ベース

H26の収支を試算

(単位:億円)

区 分	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25予算	H26計画
歳入①	1,545	1,556	1,537	1,564	1,527	1,511
歳出②	1,518	1,528	1,508	1,537	1,527	1,523
収支①－②	27	28	29	27	0	▲ 12
市債残高	2,139	2,119	2,085	2,051	2,013	1,988
財政5基金残高	252	244	258	262	241	227
行政運営経費削減額 対22予算比:一般財源ベース	—	—	6	12	30	33

※市債残高に公立大学の債務承継分は含まない。

ローリングの結果②(試算の比較)

★歳入・歳出の比較(26年度試算の差)

- 歳入は、地方交付税等が減ることにより11億円の減となる見込み。
- 歳出は、人件費や扶助費及び公債費等が減ることにより3億円の減となる見込。
- 主な科目の増減とその要因は次のとおり。

(単位:億円)

区分 (増減額)	主な科目	増減額	増減の主な要因
歳入 (▲11)	市税	+7	法人市民税4億円増、たばこ税3億円増
	地方交付税	▲15	地方財政計画の減(▲1.8%)及び市税の伸びによる影響
	地方消費税交付金	▲13	地方消費税の増税による収入増の見込を昨年度見込から下方修正
	市債	+9	地方財政計画における臨時財政対策債の伸びによるもの(+5.3%)
歳出 (▲3)	人件費	▲8	定員適正化計画による職員数減
	公債費	▲3	市債残高の圧縮及び償還計画による
	扶助費	▲4	児童福祉関係11億円減、生活保護費1億円減、障がい福祉関係8億円増等
	普通建設事業費	+11	「市民の命を守る事業」に8億円を投資

ローリングの結果③(試算の検証)

★ローリング後の財政収支

- 地方財政計画による地方交付税の減少や地方消費税交付金の収入見込の見直し等により、財政収支の不足額は昨年度試算時点よりも8億円増加の見込み。
- 引き続き徹底した行財政改革に取り組むことにより、早期の収支不足解消を目指す。

★ローリング後の財政目標

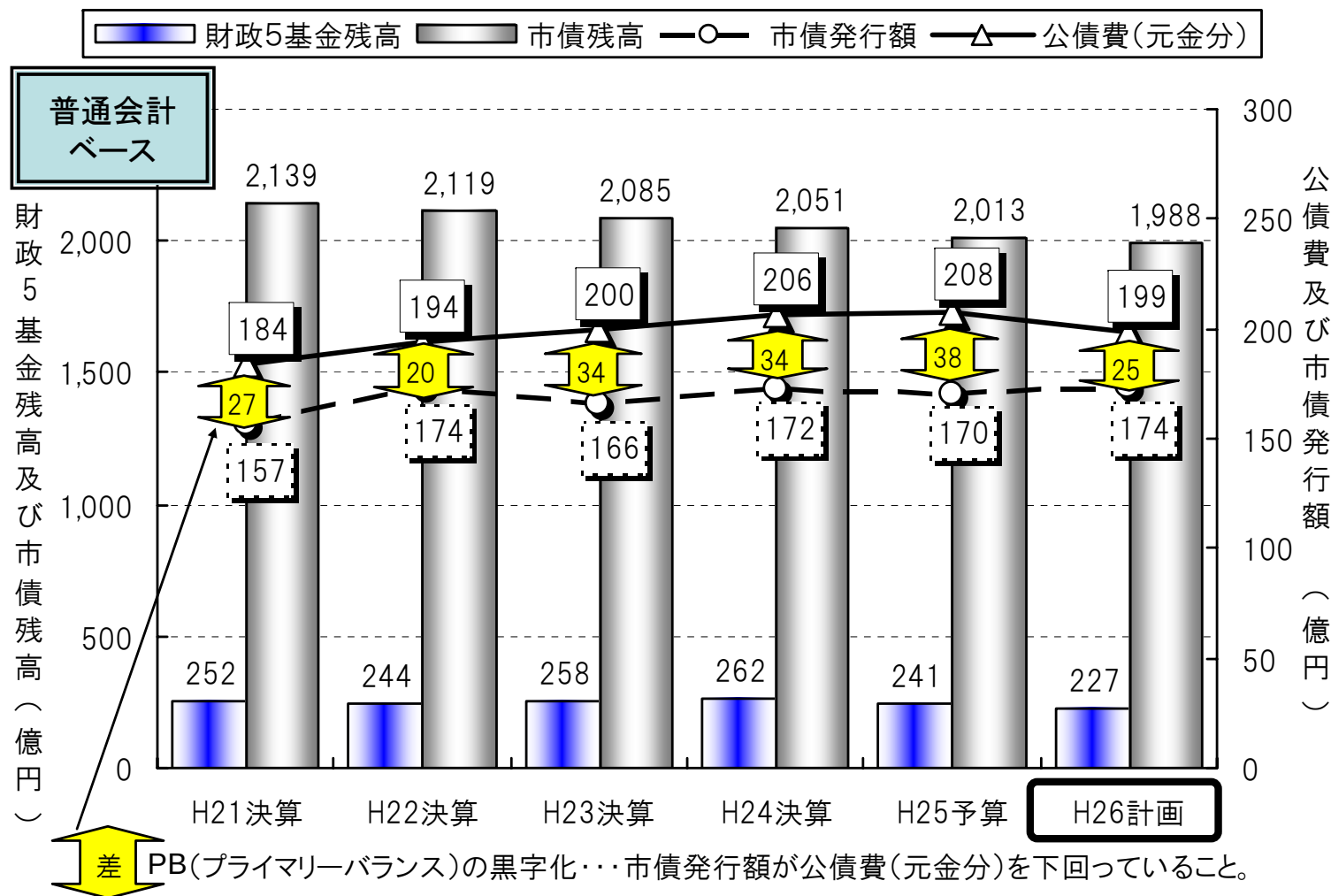
- いずれの目標も達成できる見込み。

目 標		見込額	達成度
目標1	市債残高を150億円以上圧縮 (対H21比 普通会計ベース)	151億円圧縮	達成
目標2	財政5基金残高を200億円以上確保	227億円確保	達成
目標3	行政運営経費80億円以上の削減 (対H22予算比 H26までの合計 一般財源ベース)	81億円削減	達成

★ローリングの結果は予算編成に活用

- ローリングの結果は26年度当初予算編成に活用し、財政健全化路線を堅持。

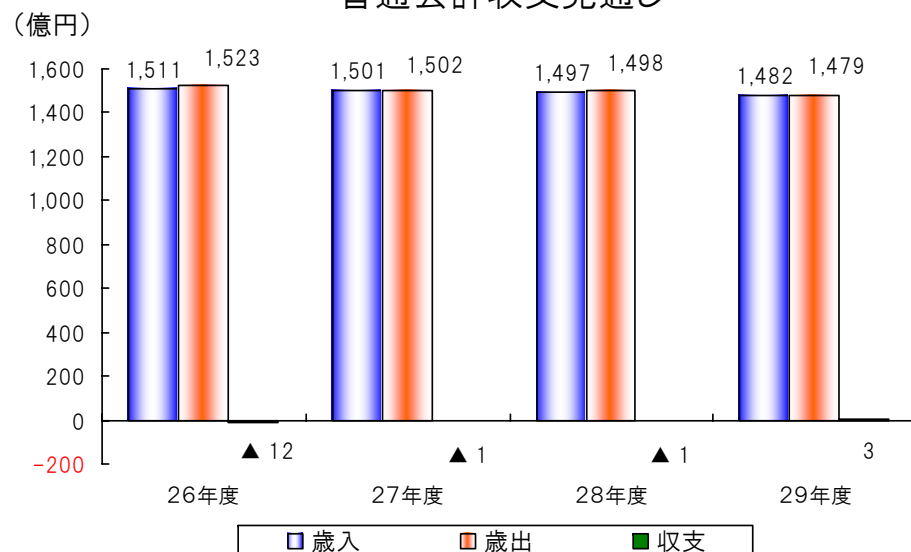
ローリングの結果④(基金・市債残高及び公債費の推移見込み)



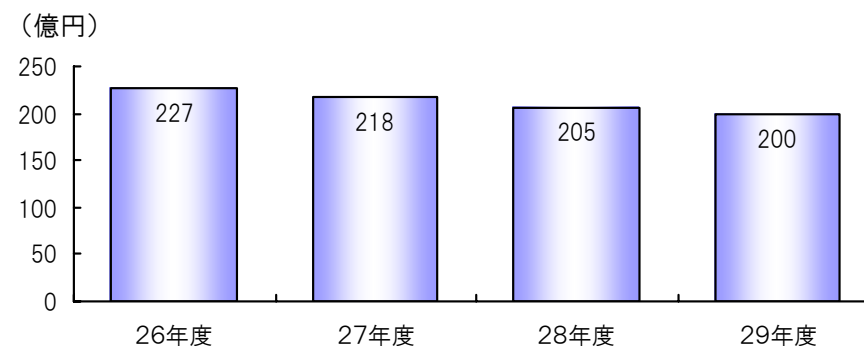
【注】市債残高に公立大学の債務承継分は含まない。

参考：第四次宮崎市総合計画 後期基本計画 財政見通し

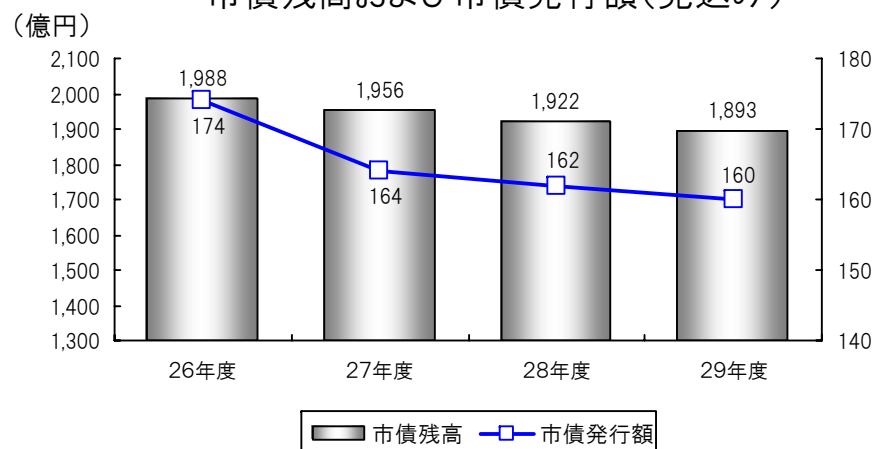
普通会計収支見通し



財政5基金残高(見込み)



市債残高および市債発行額(見込み)



★今回の中期財政計画のローリングを踏まえ、昨年度に試算した第四次宮崎市総合計画(後期基本計画)期間である平成25年度から平成29年度までの5年間の財政見通しを再試算。

再試算結果

- 平成29年度での収支黒字化を見込む
- 財政5基金残高は200億円以上を確保
- 市債残高は順調に削減